

あ まぬの の  
「亜麻布を残して」

マルコ章 14 節 43～52 節

旧約聖書において、亜麻布は特別なふくのきじです。祭司たちは亜麻布をまとい、神の前に立ちました。それは清さのしるし、奉仕のしるし、神に近づく者のよそおい、富や品位のしるしでもあり、「きちんとした人」が身につけるふくでもあったのです。

その亜麻布が、ここでははぎ取られ、地面に残されます。若者は捕まることを恐れ、裸のまま逃げていきました。ここに、痛いほどのメッセージがあります。神に仕える者の衣、清さの象徴であった亜麻布が、イエスが捕らえられる現場に、置き去りにされているのです。若者は逃げました。弟子たちも逃げました。園には、イエスだけが残されます。亜麻布は地面に残り、人は去り、それでも主は、その場所を去られませんでした。清さを失った人間の代わりに、奉仕を投げ出した者の代わりに、イエスご自身が、捕らえられる道を選ばれたのです。

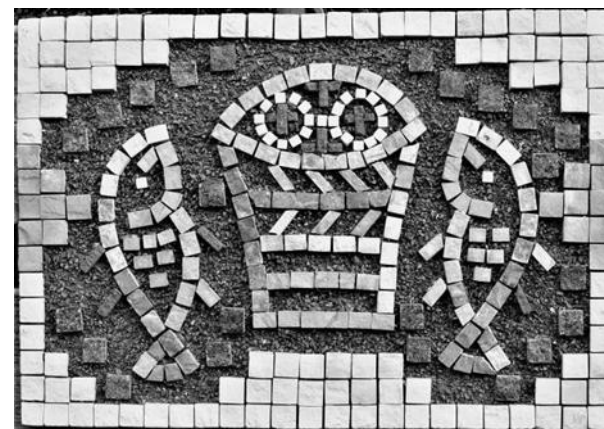
この名もない若者は、私たち自身の姿かもしれません。

お知らせ(再掲)ー71回年頭修養会(来年)が日程 2027 年 1 月 11 日(月・休)~12 日(火)・会場 北海道クリスチャンセンター で開催されます。ご参加ください。

日本キリスト教団 浦河教会

# 週 報

No. 44 2026 年 2 月 1 日



〒057-0022 北海道浦河郡浦河町昌平町東通 32

伝道師 大槻茂勝

090-9716-1353

2026 年 2 月 1 日 (No.44)

降誕節第 6 主日礼拝

司会 半田 かおる・奏楽 松村 宣恵

ぜん そう 一 どう  
前 奏 一 同

さんびか 8 5 (2 回) 一 どう  
讃美歌 一 同

いの 祈 り しかいしゃ  
司会者

せい しょ しかいしゃ  
聖 書 マルコ 14 章 43~52 節 司会者

(新約聖書 93 頁)

さんびか 4 1 9 一 どう  
讃美歌 一 同

せつ きょう 一 どう  
説 教 「亜麻布を残して」 一 同

さんびか 9 1 一 どう  
讃美歌 一 同

けんきん かんしゃ いの 一 どう  
献金 と感謝 の祈 り 一 同

しゅ いの 一 どう  
主 の祈 り 6 2 一 同

しょう えい 一 どう  
頌 栄 キリストの平和が (1, 5) 一 同

しゅく とう ばく し  
祝 祷 牧 師

ほう こく  
報 告

あた へ きた ひと きた しょうかい  
新しく来られた方・久しぶりの方の紹介

【今週の集会】

◇一緒に聖書を読み祈る会

2 月 4 日 (水) 19 時より

〈コヘレトの言葉 7 章 23~29 節〉旧約 1042 頁

【次週の予定】

◇主日礼拝

2 月 8 日 (日) 14 時

聖書 マルコ 14 章 53~65 節

讃美歌 5 6 3・9 1

◇一緒に聖書を読み祈る会

2 月 11 日 (水) 19 時より

〈コヘレトの言葉 8 章 1~8 節〉旧約 1043 頁

【来週の礼拝 司 会者を決めましょう】

- ①山本充枝 ②内村直人 ③半田かおる  
④伊藤知之 ⑤山根耕平 ⑥岸澤恵美  
⑦高崎 晋 ⑧早坂 潔 ⑨荻野 仁 ⑩和田智子

⑪吉田公子 ⑫大矢英明 ⑬岸上 浩

【集会統計】

集会名	出席者	献金
主日礼拝 (1月 25 日)	15 名	4,693 円

祈祷会	3 名
(1月 28 日)讃美歌 471・522	

・頌栄 キリストの平和が

1. キリストのへいわが  
わたしたちのこころのすみ  
ずみにまで 行きわたりま  
すように

5. キリストのゆるしが  
わたしたちのこころのすみ  
ずみにまで 行きわたり  
ますよう